

2009.11.12 (木) 晴れ 飯道山&庚申山 ひとり



駐車場所 ①

1002 駐車場所 1026 林道分岐⑤
1114-1134 飯道山山頂・昼食 1216 林道分岐⑤
1306 南側林道経由駐車場所
1335 307号沿い駐車場所 1352 庚申山山頂
1417 山頂を右回りに一周して駐車場所



登山口 ②



獣対応の柵 ③



石仏の案内④



林道分岐⑤ 左が行き、右は帰り道

秋雨続いていたが、本日は晴れということで、飯道山に向かう。マツタケシーズンゆえ、三大寺コースの往復だ。車を鳥居に止めて出発。獣対応の柵、石仏、林道分岐、休憩所を過ぎ、地点⑧に。25000にある尾根コースは帰りに確認することにして、道標に従い、杖の権現休憩所経由で山頂にたつ。山頂からは三上山や阿星山、金勝アルプスを見ることができる。7度の山頂で食事を取り、地点⑧で尾根コースの探索を試みる。



休憩所 ⑥



岩壺不動尊 ⑥



山頂には左の道⑧



コリ坂 ⑨



杖の権現休憩所 ⑩



山頂 ⑪

右の道は更にふたつに分かれたが、いずれも尾根道ではなく谷沿いに進んでいる。地点⑧に戻り、二又の林道の間うっすらとした踏み跡があり、これが尾根道であろうと勝手に推測。地点⑤より南の林道で地点⑬ネライで進んだが間違っ、山上方面⑫に出てしまう。引き返して地点⑬に到着。ここも車進入防止の柵があるので、東側からは車でははいれないのであろう。



山頂から更に2つのルートが⑪



林道の車進入防止柵 ⑫



林道の車進入防止柵 ⑬



庚申山入口 ⑭

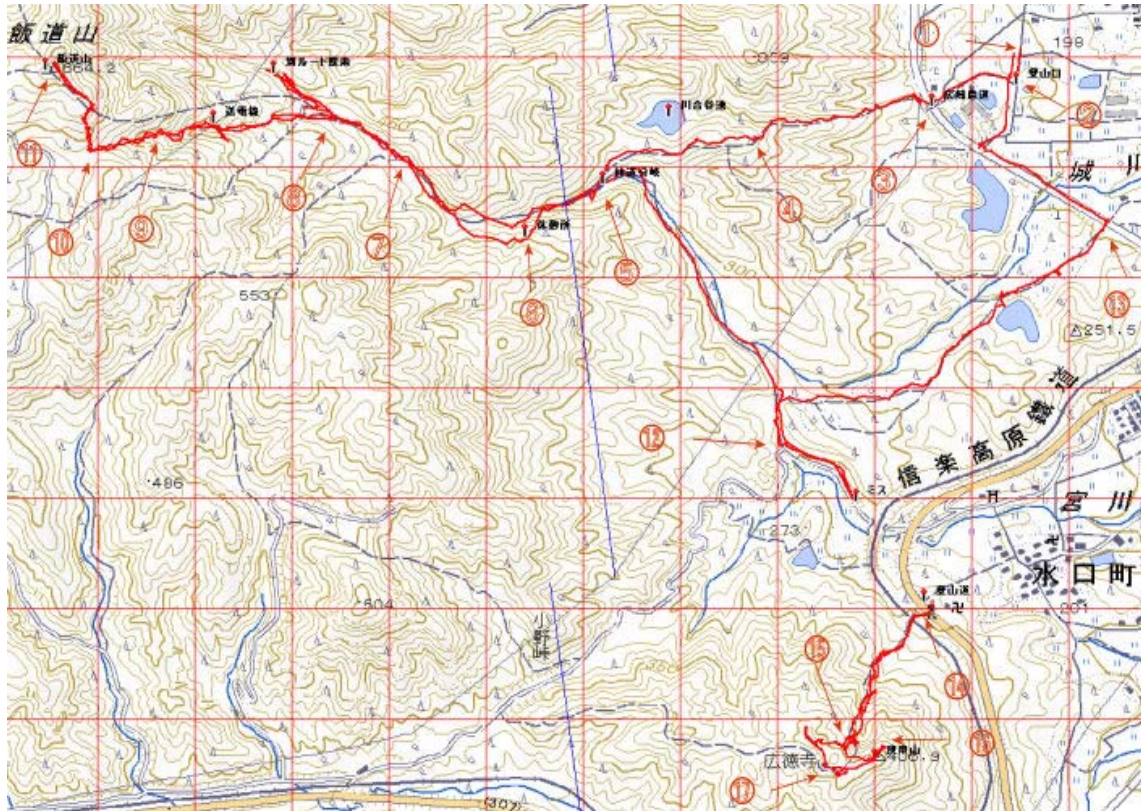


二又を左に行くと山頂&展望台⑮



展望台 ⑯

時間もがあるので庚申山に立ち寄ることにした。地点⑭の入口から登山道に入る。地点⑮でどちらに行くべきか躊躇ったが、道のはっきりした左の展望台コースを選択。山頂の広徳寺の紅葉を楽しんだあと、展望台に。正面に鎌や御在所などの鈴鹿の山をみることができる。展望台から西に行くと駐車場⑰があり、なんと車で山頂まで来れたことに気づく。遊歩道を進み、地点⑮にでる。結局、右回りに一周したことになる。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。
（承認番号 平17総使、第290号）

[トップページ\(2009\)に戻る](#)

[ホームページに戻る](#)